

一般質問

6月16日



自由民主クラブ

さ さ き だい すけ
佐々木 大介

Q 市街地活性化に向けた方策について

A 地域の声を聞きながら方向性を見出す

問 ①平成27年以降、本市の人口動態は転入数が転出数を上回る結果となっており、この転入超過の要因をどのように考えているか伺います ②中心市街地である花川地区は造成から50年以上が経過していますが、人口減少対策として住宅の新築や建て替え需要に応えるために、新たな方向性を模索していくことが重要だと思えます。同地区の活性化に向けた今後のまちづくりについて考えを伺います。

①平成27年以降、本市の人口動態は転入数が転出数を上回る結果となっており、この転入超過の要因をどのように考えているか伺います ②花川北地区は土地利用の見直しを行い、空き家の顕在化等への対応をしたところですが、花川南地区は本市の中でも住宅団地として最初に造成された経緯から敷地狭あいの課題を抱え、ライフスタイルの多様化等により住宅需要を充分に取り込めておらず、若い世代の定着機会を逸失している側面があることから、市では都市骨格方針など4計画の見直しの中で、同地区の活性化に向けた新たな方向性を、地域の声を聞きながら同時並行的に見出ししていきたいと考えています。(企画経済部・建設水道部)

Q 町内会館の改築改修について

A 全市的な視点での検討が必要

問 丘珠空港は昨年から夏季限定で静岡便が就航したほか、名古屋や北九州などへも試験運行をしており、利用促進に向けた取り組みが進められていますが、石狩湾新港を有する本市にとってビジネス需要などが期待できる丘珠空港の位置づけはどのようになっているのか伺います。

丘珠空港は昨年から夏季限定で静岡便が就航したほか、名古屋や北九州などへも試験運行をしており、利用促進に向けた取り組みが進められていますが、石狩湾新港を有する本市にとってビジネス需要などが期待できる丘珠空港の位置づけはどのようになっているのか伺います。

問 市内に40カ所ある町内会館・集会所のうち、築30年以上経過した建物が9カ所、築40年以上が6カ所あり、地域住民からも耐震性強化の要望が上がっていることから、改築や改修の計画を作成し、早期に方向性を示すことが必要だと思えますが、市の考えを伺います。

市内に40カ所ある町内会館・集会所のうち、築30年以上経過した建物が9カ所、築40年以上が6カ所あり、地域住民からも耐震性強化の要望が上がっていることから、改築や改修の計画を作成し、早期に方向性を示すことが必要だと思えますが、市の考えを伺います。

Q 丘珠空港の位置づけについて

A 地域の活性化等が見込まれる

丘珠空港は昨年から夏季限定で静岡便が就航したほか、名古屋や北九州などへも試験運行をしており、利用促進に向けた取り組みが進められていますが、石狩湾新港を有する本市にとってビジネス需要などが期待できる丘珠空港の位置づけはどのようになっているのか伺います。



▲わかば会館

丘珠空港は昨年から夏季限定で静岡便が就航したほか、名古屋や北九州などへも試験運行をしており、利用促進に向けた取り組みが進められていますが、石狩湾新港を有する本市にとってビジネス需要などが期待できる丘珠空港の位置づけはどのようになっているのか伺います。

その他の質問

- 空き家対策、空き家活用について
- 市職員の市外居住について
- 次世代エネルギーの活用について
- 防災について
- ミックスパーパーサイクルについて